

構内・バック時の事故防止

～ バック時 慣れた場所でも 下車確認 ～

- 構内でも、運転中は「運転に集中」し、「わき見」は絶対しない
- バックの進入路、シャッター、ほかの車の有無の確認は、「一旦停止」し、「自分の目」で確認
- 自分の車の後ろの状況を確認しなければ、バックできない

日が短くなりました

夕暮れの、自転車・歩行者、交差点に十分注意しましょう

薄暮時、夜間事故の防止

点灯せ 生死を分ける ハイビーム

- 早目のライト点灯で自車を目立たせましょう
- 夜間走行時はハイビームが基本（ライトをこまめに切り替え、危険を早期に発見）
- 歩行者に注意しましょう（右側から横断してくる歩行者は発見が遅れるので注意）

高齢者の乱横断（横断歩道のないところを渡る）

優先道路でも、危険予測・防衛運転を…しましょう

あわてるな！ 急ぐ気持ちにブレーキを

「ひやり」は、事故の「予兆！」
「安全確認」で、危険な「まさか…」を根絶！

交差点の事故防止

～ 交差点 「慣れ」と「急ぎ」が 招く事故 ～

- 交差点手前で、黄色信号の場合は加速しないで停止する（イエローストップの励行）
- 交差点の右左折時は、徐行運転の励行（左折は自転車、右折は歩行者に特に注意）
- 停止線手前での一時停止の完全実施、左右安全確認の徹底

◆労災事故防止 トラックの荷台から…「墜落・転落」、「挟まれ」防止◆

昼12時 信号のない交差点 右折車と直進バイクが衝突 バイクの男性死亡

◇「昼食後」の…「ぼーっと運転」、「居眠り運転」 要注意◇

◇交差点の右折は…十分に余裕を持って、直進車・歩行者に注意し、行いましょう◇

2019/10/18(金) 19:15

18日午後0時半ごろ、京都府の信号のない交差点で、右折しようとした女性事務員（43）の乗用車と、直進の男性消防士（33）のバイクが衝突した。消防士は頭などを強く打ち死亡した。

信号機や横断歩道のない場所

歩いて横断中の高齢男性が、車にはねられ、意識不明の重体

◇デイ・ライトで知らせよう…自分の車の存在 事故防止◇

◇車が動いているときは、いかなる場合も 常に、100%運転に集中しましょう◇

2019/10/18(金) 19:20

18日午前8時40分ごろ、宮崎県で、道路を歩いて横断していた男性（80）が軽ワゴン車にはねられ、意識不明の重体となっています。現場には信号機や横断歩道はなく警察は過失運転致傷の疑いも視野に軽ワゴン車を運転していた男性から話を聞くなどして事故の原因を調べています。

飲酒運転 赤信号の交差点に突っ込み、「死亡事故」

運転手の男に、「懲役9年」

歩けないほど泥酔し運転…蛇行運転して、赤信号の交差点に侵入
落ち度が無い被害者を即死させた。遺族が受けた精神的打撃は計り知れない

2019/10/18(金) 19:34

泥酔状態で車を運転した末に新聞配達員の男性をはね、死亡させた罪に問われた男（32）に、地裁は懲役9年を言い渡しました。飲酒運転をしたうえ、時速82キロで赤信号の交差点に突っ込んでミニバイクをはね、新聞配達の仕事に向かう男性（当時45）を死亡させた、危険運転致死の罪に問われています。判決で、大阪地裁は「酒を飲まないように注意されていたのに、車内で飲酒したあと、居酒屋まで飲酒運転したばかりか、歩行困難になるほど大量の酒を飲んだ」と指摘しました。そのうえで「蛇行運転して赤信号の交差点に侵入し落ち度が無い被害者を即死させた。遺族が受けた精神的打撃は計り知れない」として、被告に懲役9年を言い渡しました。

夜8時 飲酒運転 軽乗用車が縁石に衝突 35歳女性死亡

◇飲酒運転で、「捕まった者、事故を起こした者」は、◇

◇「自分だけは捕まらない、事故を起こさない」と思っていた◇

2019年10月18日

17日午後8時40分ごろ、三重県の国道で女性（35）運転の軽乗用車が、進行方向左側にある高さ約25センチの縁石に衝突し、乗り上げた。女性は全身を強く打ち死亡が確認された。女性から酒の臭いがしたことから、酒を飲んで運転した疑いがあるとみて同署が事故の原因を調べている。